

都政新報

発行所 都政新報社

〒160-0023 東京都新宿区
西新宿7-23-1 T Sビル

(総務・読者) 03-5330-8781

(企画広告) 03-5330-8784

(編集) 03-5330-8786

(制作) 03-5330-8786

(出版) 03-5330-8788

(ファクス) 03-5330-8808

購読料 月1,680円(税込)

毎週火・金曜日発行

ただし、祝日は休刊

©都政新報社 2011

号外

詳しくは6日付の都政新報で

北敗致切輪五

石原知事「任期全う」を強調

【コペンハーゲン2日】 I O C総会は2日、2016年オリンピック・パラリンピック開催都市にリオデジャネイロを選んだ。東京は2回目の投票で敗れ、1988年の名古屋市の08年の大阪市の夏季五輪招致に続き、日本勢は3連敗。16年五輪招

致には、東京のほか、リオデジャネイロ、シカゴ、マドリードの3都市が立候補。混戦が予想されたが、最後は「南米初の開催」をアピールしたりリオデジャネイロが圧勝した。東京は1回目の投票で22票を獲得してシカゴ(18票)に競り勝ったが、

2回目は票を減らして20票となり、リオ(46票)、マドリード(29票)の前に沈んだ。決戦投票では、リオが66票を獲得。前回に続いて立候補したマドリードを退けた。石原知事は同日夜の記者会見で、残り1年半の任期を全うする考えを

強調。2020年五輪招致については「都民や国民の意見をよく聞き、J O Cと考えを交換しながら、積極的に考えていきたい」と話した。I O C総会の最終プレゼンテーションで、東京はシカゴに続いて2番目の登場。無名の体操選手・三科怜咲さん(15)をサプライズで起用し、崩れる氷河や干ばつの映像をバックに、環境危機を訴えた。鳩山由紀夫首相も、国連総会で表明した温暖化ガスの削減目標を引き合いに、「大都市が環境を損なうことなく繁栄できるか、世界に示すことになる」と環境五輪をアピール。石原知事は、「次世代の若者たちに、希望、勇気、未来に立ち向かう力を送りたい」と五輪開催の意義を語った。



落選が決まり、肩を落とす招致関係者ら＝2日、I O C総会会場で

しかし、I O C委員との心情が趨勢を決める招致レースにおいて、東京は最後までインパクト不足を克服できず、招致の「顔」の不在が響いた。

都政新報購読
お申し込みは
03-5330-8781